

7月30日

ブラックホール撮影メンバーのおすすめ本

イベント



国立天文台水沢V L B I観測所の本間希樹^{まれき}所長ら研究者5人が、市立図書館4館と市立図書室1室にブラックホールや天文学の書籍を寄贈しました。胆沢図書館で行われた贈呈式では、本間所長が「科学に興味を持つきっかけになれば」と思いを語り、来館していた子どもたちが本を手にとっていました。

8月2日

奥州胆沢で歩いて発見水の魅力

イベント



胆沢平野土地改良区主催の「水に親しむウォークラリー」が開かれました。猛暑の中、胆沢の徳水園を発着地点に3.5kmの距離を歩き、真剣なまなざしでクイズに取り組む155人の親子連れ。参加者の神崎康祐君（水沢南小3年）は「クイズも楽しく水にも親しむことができて良かった」と笑顔を見せました。

8月4日

巧みな話芸で聴衆沸かす

イベント



衣川ふるさと寄席が国民宿舎サンホテル衣川荘で開かれました。用意された約250席が満席となる中、衣川出身の落語家・桂枝太郎さんら4人が落語や講談などを披露。真打になってから10年目となる枝太郎さんは、地元ネタや時事ネタを交えて落語を演じ、詰め掛けた聴衆を笑いの渦に引き込みました。

8月7日

齋藤ワカ子さん 100歳
（水沢不断町）

百寿



水沢立町で生まれ、20歳で故・芳郎さんと結婚。3女をもうけ、孫7人、ひ孫9人に恵まれています。家族と毎日おしゃべりをしたり、テレビや新聞を見たりして楽しく過ごすのが長寿の秘訣とのこと。ワカ子さんは「我ながらびっくりしている。これも家族が支えてくれているおかげ」と笑顔で祝福に応えました。

8月12日

佐藤ノヨさん 100歳
（水沢西上野町）

百寿



金ヶ崎町で生まれ、23歳で故・武雄さんと結婚。1男1女をもうけ、孫4人、ひ孫3人に恵まれています。主婦として家事や野菜作りに励む傍ら、裁縫が得意だったこともあり、着物などを頼まれて縫っていたそうです。お祝いに集まった家族は「これから元気で長生きしてください」とさらなる長寿を願いました。

8月13日

佐藤ソノさん 100歳
（江刺愛宕）

百寿



水沢羽田町で生まれ、20歳で故・二三雄さんと結婚。1男3女をもうけ、孫7人、ひ孫9人に恵まれています。農業と4人の子育てに明け暮れたというソノさん。小さいころから足が速く、運動会の際はいつも選手として出場していたそうです。100歳を迎え「これも皆さんのおかげ」と感謝の気持ちを語りました。

8月4日～9日

市課題を早大と共同研究

市政



市は、早稲田大学公共経営大学院と連携し、市の課題解決に取り組むフィールドワークを行いました。10年目となる今回のテーマは「スポーツ振興の現状、今後の在るべき姿と進め方について」。同大学院の院生と市職員ら4人が関係者からの聞き取りなどを行い、まとめた政策を市に提言しました。

8月5日

10周年を記念し青少年教育を語る

市政



市と早稲田大学公共経営大学院が連携するフィールドワークの10周年を記念し、元早稲田大学総長の奥島孝康^{きんこう}さんを迎え、講演会を開催しました。奥島さんは「後藤新平をめぐる青年教育について」と題して講演。後藤新平の自治三訣^{さんけつ}の精神と早稲田大学の教育方針との共通点などについて語りました。

8月6日

岩大で鋳物づくりを体験

イベント



奥州中学生ものづくりセミナー in 岩手大学が開かれ、14人の生徒が参加しました。理工学部で、大学教授から鋳物の歴史や最新研究を学んだ後、鋳造実習でペン皿作りに挑戦。鋳物が工芸品としてだけでなく、機械部品としても数多く使われていることを学び、ものづくり技術が果たす役割について理解を深めました。

8月17日

身近な課題から始まる地域づくり

イベント



おうしゅうソーシャルキャンプ2019（市社会福祉協議会主催）が、市協働のまちづくりアカデミーとの共催で行われました。さまざまな年代、職種の45人が「明日からできる楽しいアクション」をテーマに、自分のまちの理想の姿と、それに向けて何ができるかを発表し合い、交流を深めました。

8月21日

地球に優しい資源循環型社会を目指して

イベント



市などが主催する市環境大会が開かれ、市民や団体、事業者、市が協働でごみの減量化などに取り組むことを宣言しました。講演では、市内で米からエタノールを製造する㈱ファーマンステーション代表取締役の酒井里奈さんが、未利用資源の活用事例を紹介し「無駄のない社会ができれば」と思いを語りました。

8月24日

宇宙観測の最前線を間近で体験

イベント



国立天文台水沢V L B I観測所と奥州宇宙遊学館を会場に、いわて銀河フェスタ2019が開催されました。毎年人気の電波望遠鏡の見学のほか、今年は史上初のブラックホール撮影に携わった研究者との交流や、ブラックホールをモチーフとしたオリジナル菓子の販売が行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。